

イヤホンチューニング (スマートフォン用)

特許申請中(測定補正方法)

特性補正機能の仕様

- 構成:
1. 測定と補正のプログラム (C-ソースで供給)
 2. 測定用配線アダプタ (仕様書書類で提供)
 3. 左右イヤホン音響結合チューブ (仕様書類で提供)

補正する周波数範囲: 150Hz~10kHz (使えるCPU資源によって範囲の変更可能)

図は 512ステップのコンボリューションによる補正例

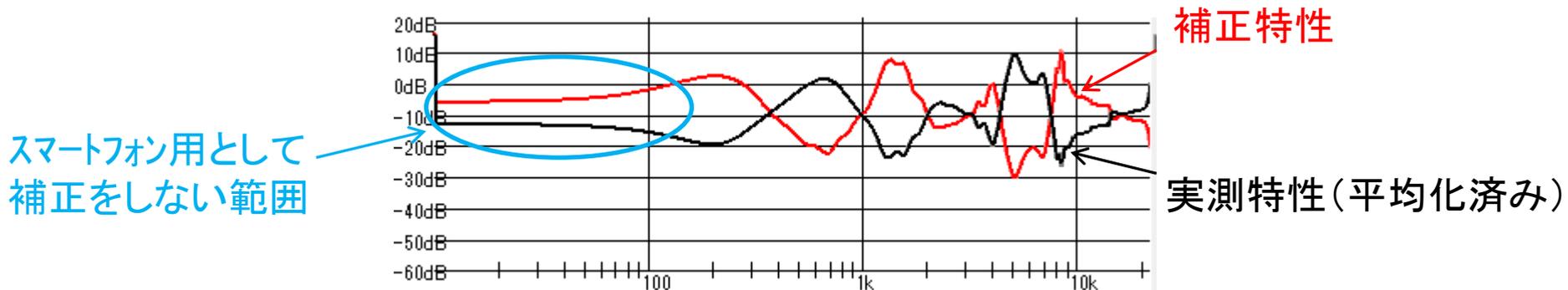
使うCPU資源と補正性能はトレードオフ関係にある。

補正するレベルの範囲: 最大+-20dB (変更可能)

補正するきめ細かさ: 比周波数範囲で 0%~20%

きめ細かくすると、リバーブ感が出るので、適度に大雑把に補正

補正後の特性: 任意に設定可能



イヤホンチューニング特性の例

イヤホンには多種多様あります。

それぞれに、特徴があります。以下の4種類は市販されているイヤホンでも1800円 から 3800円クラスの売れ筋のものです。

(図1) 高音が強く、明瞭性が高い

(図2) 比較的一様に平坦な

(図3) 低音が強く高音が弱い

(図4) 中音が弱く低音高音が強い

